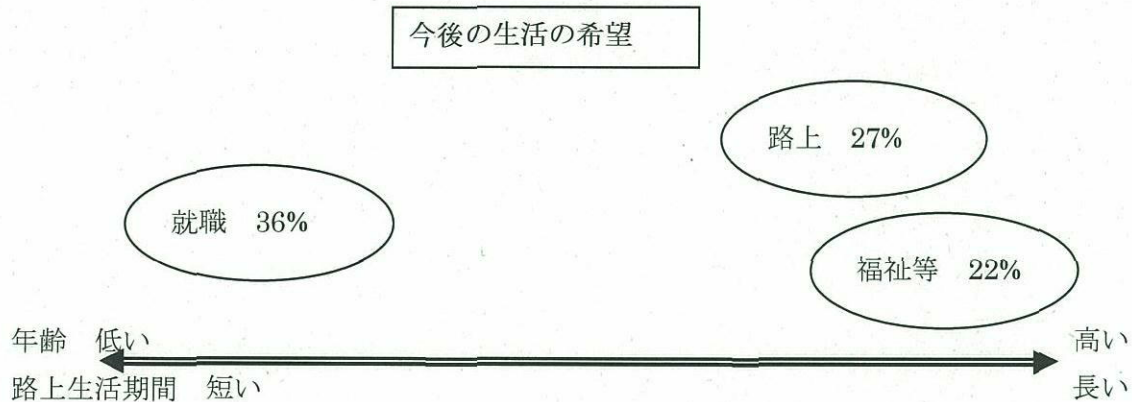


注：5節～6節の数値およびすべてのクロス表は、男性のみのサンプルで行っています。

5. 就職希望と求職活動

今後の生活の希望は、全体でみると、就職（36%）が最も多く、次いで路上生活の継続と捉えられる「今のままでいい」（18%）、「都市雑業」（9%）（合計 27%）、最後に、行政による支援を求めている「行政支援と軽い仕事」（11%）、「福祉」（10%）、「入院」（1%）（合計 22%）となっている。



今後の希望と年齢の関係をみると、比較的に年齢が低い層ほど「就職」を希望し、年齢が高い層ほど「福祉」等を希望している。また、路上生活期間が短く、収入が低いほど「就職」を希望する割合が多い。

「就職」希望は、自立支援センターへ入所する最大の動機と考えられるが、この二つの変数は関係があるものの、必ずしも「就職希望」→「自立支援センター入所希望」と直結しているわけではない。確かに、回答者の約半数（43.0%）を占める自立支援センターを望まない人（問 26、26_4、彼らを「自立支援センター回避組」と呼ぶ）は、今後の生活の希望（問 29）においても「今のままでいい」（26%）「都市雑業」（12%）とする人がほかの人よりも多く、入所希望者（回答者の 13.3%）は「就職」（53%）を希望する人が多い。しかし、自立支援センター回避組が、就職を望まないわけでもなく、彼らの 26%は「就職」を

自立支援センター経験	n	%	就職	都市雑業	行政支援と軽い仕事	福祉利用	入院	今のままでいい	わからない	その他	欠損	計									
知っており利用したことがある	181	9.3%	89	49%	10	6%	20	11%	14	8%	4	2%	18	10%	6	3%	19	10%	1	1%	181
知っているが利用したことがない	1109	56.7%	366	33%	107	10%	123	11%	112	10%	5	0%	235	21%	67	6%	93	8%	1	0%	1109
知らない	644	32.9%	246	38%	59	9%	67	10%	68	11%	11	2%	103	16%	33	5%	57	9%	0	0%	644
欠損	21		3	14%	0	0%	3	14%	0	0%	0	0%	0	0%	1	5%	0	0%	14	67%	21
	1955		704	36%	176	9%	213	11%	194	10%	20	1%	356	18%	107	5%	169	9%	16	1%	1955
			χ二乗= 42.35 <0.0001																		
自立支援センタ希望(26.4)	n	%	就職	都市雑業	行政支援と軽い仕事	福祉利用	入院	今のままでいい	わからない	その他	欠損	計									
今後利用したいと思わない	840	75.7%	220	26%	101	12%	76	9%	87	10%	3	0%	218	26%	56	7%	76	9%	3	0%	840
思う	260	23.4%	139	53%	6	2%	46	18%	23	9%	2	1%	17	7%	10	4%	17	7%	0	0%	260
欠損	9		5		0		1		2		0		0		1		0		0		9
	1109		364	33%	107	10%	123	11%	112	10%	5	0%	235	21%	67	6%	93	8%	3	0%	1109
			χ二乗= 117.1 0.0005																		
														<.0001							

希望している。つまり、これらの人々は、自立支援センターを就職の手段の一つと考えていない。それでは、これらの人々は、就職を実現させるためにどのような手段をとってい